

# I 今年度の研究の概要

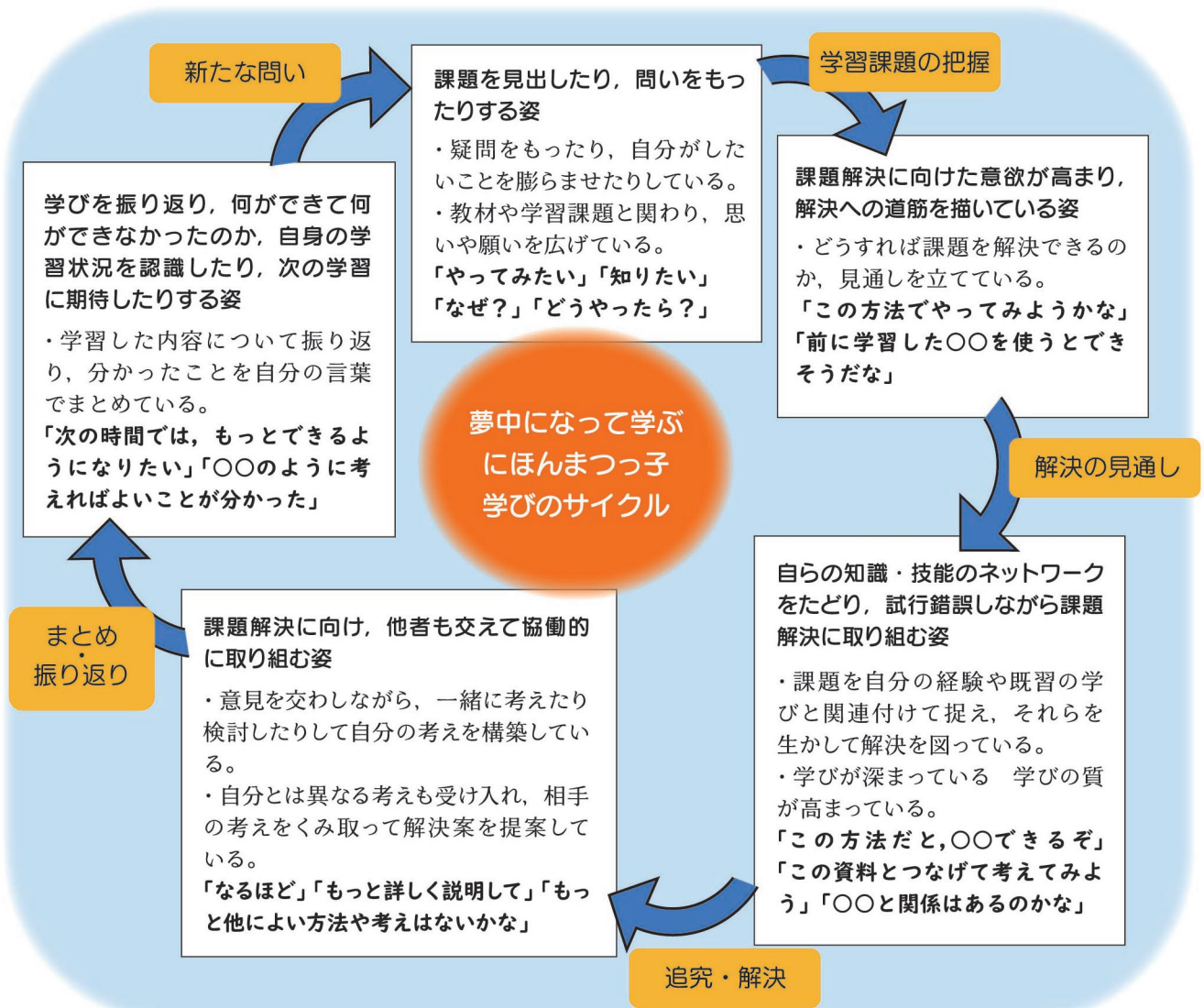
## 二本松市が目指す子どもの姿

自ら考え、主体的に判断し行動する子ども  
夢中になって対象とかかわり、学びに没頭する子ども

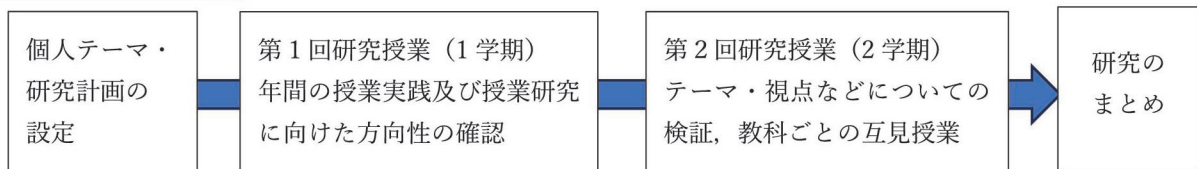
## 子どもの現状（課題）

- 自分から行動することが苦手（受け身、「待ち」の姿勢）
- すぐに諦め、止めてしまう（持続性・粘り強さに欠ける）
- 自分の考えをもち、言葉で伝え合うことが苦手（聞き方、知識量、語彙力、表現力に課題）

## 夢中になって学び、学びに没頭する具体的な子どもの姿



## 研究推進の方法



## II 資料の見方

○学年  
教科

「单元名」  
研究テーマ

育成したい資質・能力を具体的な子どもの姿でイメージし、研究テーマとして設定しました。

### 1 单元によせる授業者の思い

本学級の児童は、素直で、学習にも真面目に取り組む。

国語科の事前アンケートでは、意見文などを書く学習において「何をどう書いたらいいかわからない」

目の前の子どものよさや課題を踏まえ、どのような子どもに育てたいか、どのような思いで授業づくりに臨んだか等、授業者の思いをまとめました。

### 2 授業の実際

視点Ⅰ

視点Ⅱ

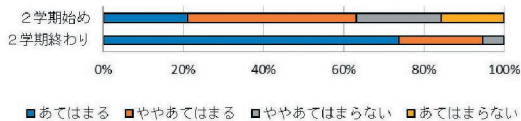
視点Ⅲ

設定した視点に沿って、具体的にどんな手立てをとったのか、その手立てによって子どもたちはどのように学んだのかを示してあります。

子どものことばや写真から、夢中になって学ぶ子どもの様子をご覧ください。

### 3 子どもの変容

どんなに難しい問題でも誰かと協力しあえば解決できると思う。



子どもの学びを客観的に捉えられるように、意識調査を実施しました。アンケートの項目は授業者が自分の目指す子どもの姿に沿って設定しました。

### 4 研究のまとめ（○成果●課題）

授業の視点に関して、アンケートの結果も踏まえながら、成果と課題について述べています。また、課題をそのままにせず、具体的な改善案を考えました。その内容については、実際の指導案をご覧ください。

実際に使用した指導案やワークシートなどをQRコードから読み取ることができます。ぜひご活用ください。

実際の指導案はこちらへ▶

